

平成26年度 学校評価アンケート集計結果

<対象:生徒・保護者・教職員・学校関係者>

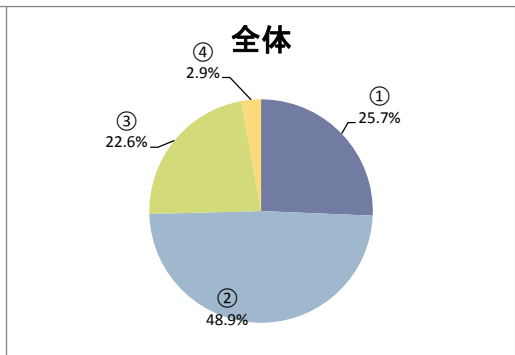
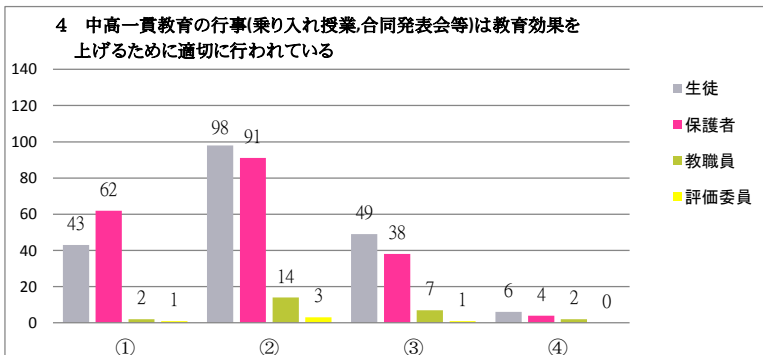
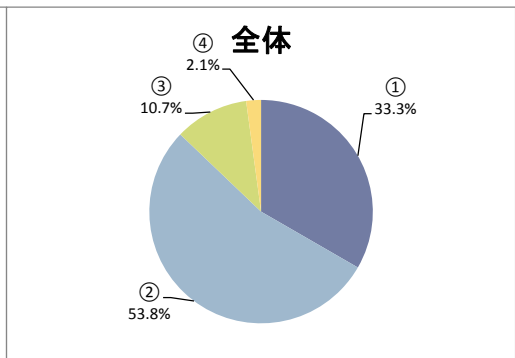
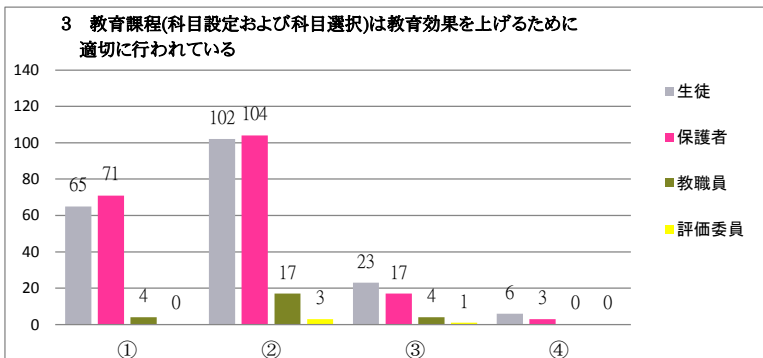
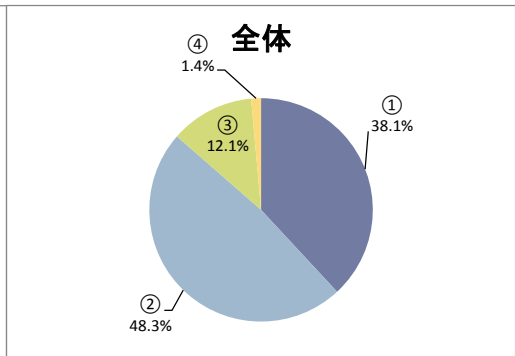
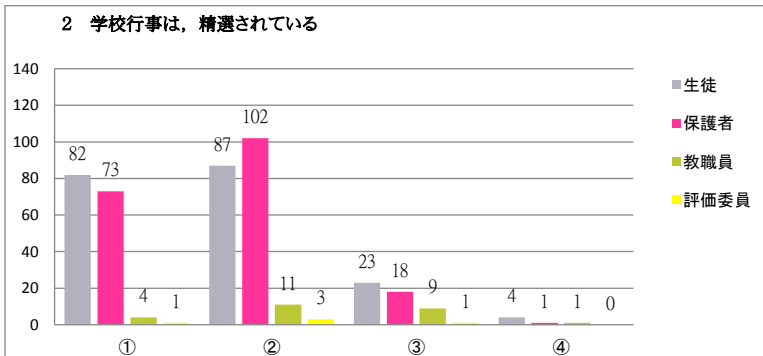
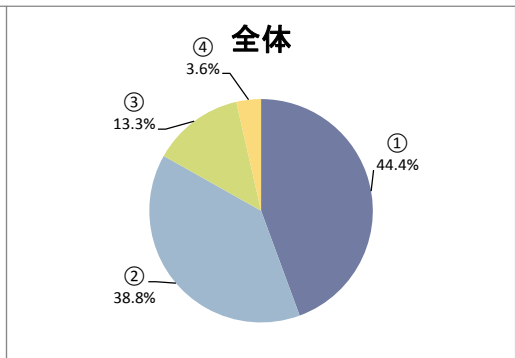
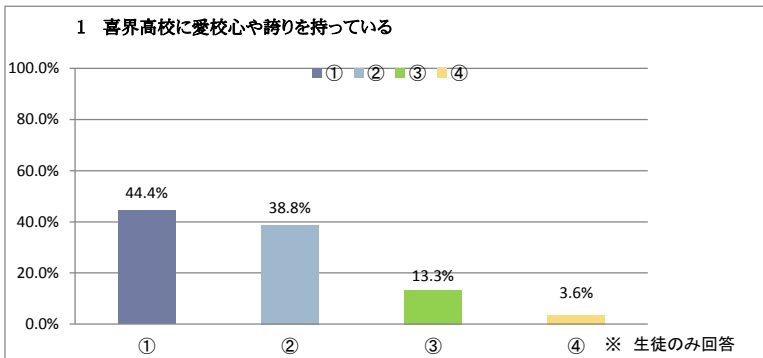
鹿児島県立喜界高等学校

平成26年度 学校評価アンケート項目

No		評価内容	生徒	保護者	教職員	評価委員
1	教務	喜界高校に愛校心や誇りを持っている。	○			
2		学校行事は、精選されている。	○	○	○	○
3		教育課程（科目設定および科目選択）は、生徒や地域のニーズに応えたものになっている。	○	○	○	○
4		中高一貫教育の行事（乗り入れ授業、合同発表会等）は教育効果を上げるために適切に行われている。	○	○	○	○
5	進路指導	（教職員）学校は進路情報を適切に提供している。 （生徒・保護者）進路情報の提供が適切にされている。 （評価委員）進路状況を適切に公開している。	○	○	○	○
6		課外授業（朝・夕課外、土曜課外、夏季・冬季課外）が適切に実施されている。	○	○	○	○
7		模擬試験・検定等が適切に実施されている。	○	○	○	○
8		学校は授業や個別指導に熱心である。	○	○	○	○
9		学校は生徒の進路実現のために努力している。	○	○	○	○
10	生徒指導	生徒指導の方針が明確に示されている。	○	○	○	○
11		基本的な生活習慣や校則、社会に通じるマナーなどが指導されている。（教職員）している。	○	○	○	○
12		悩みや困ったことがあったとき、学校は親身になって対応してくれる。（教職員）している。	○	○	○	○
13		生徒会活動や部活動が盛んである。	○	○	○	○
14		いじめ防止についての取り組みが適切に行われている。	○	○	○	○
15	保健	生徒は心身ともに健康な学校生活を送っている。	○	○	○	○
16		学校は事故防止や健康安全の維持に努めている。	○	○	○	○
17		学校内の清掃が行き届いている。	○	○	○	○
18		学校内の施設・設備はよく整備されている。	○	○	○	○
19	事務	証明書等の文書発行の事務手続きはスムーズである。	○	○	○	
20		図書室の蔵書は充実している。	○	○	○	○

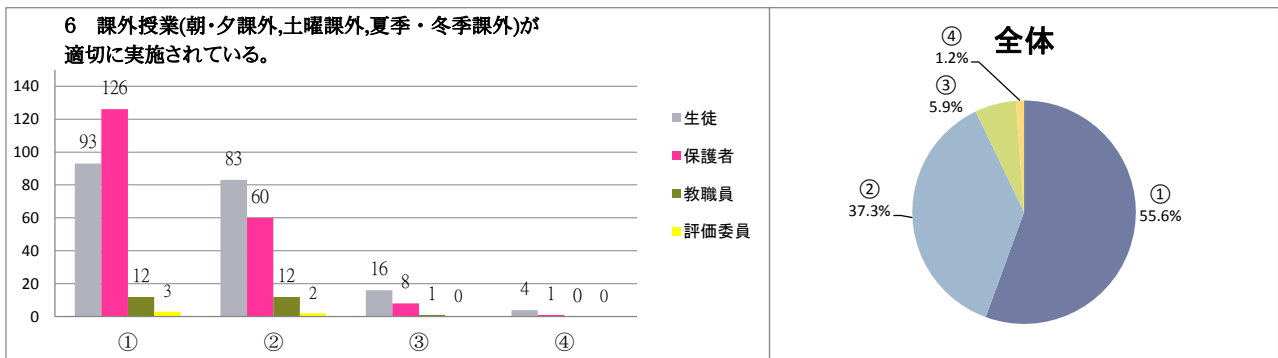
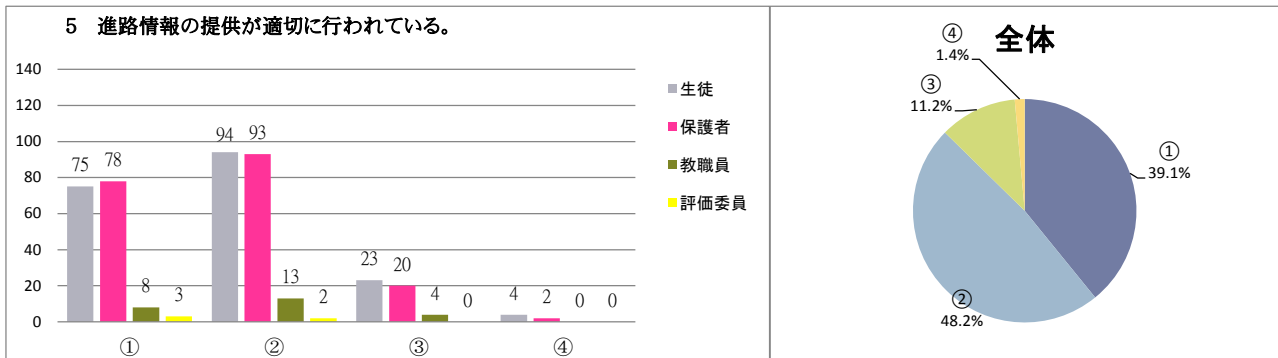
平成26年度 学校評価アンケート集計結果①(人数比較)

①よくあてはまる ②ややあてはまる ③あまりあてはまらない ④全くあてはまらない



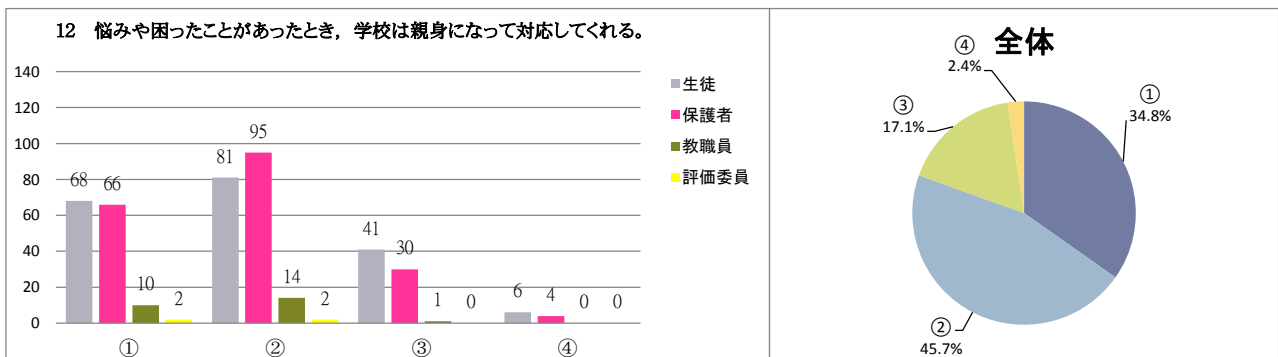
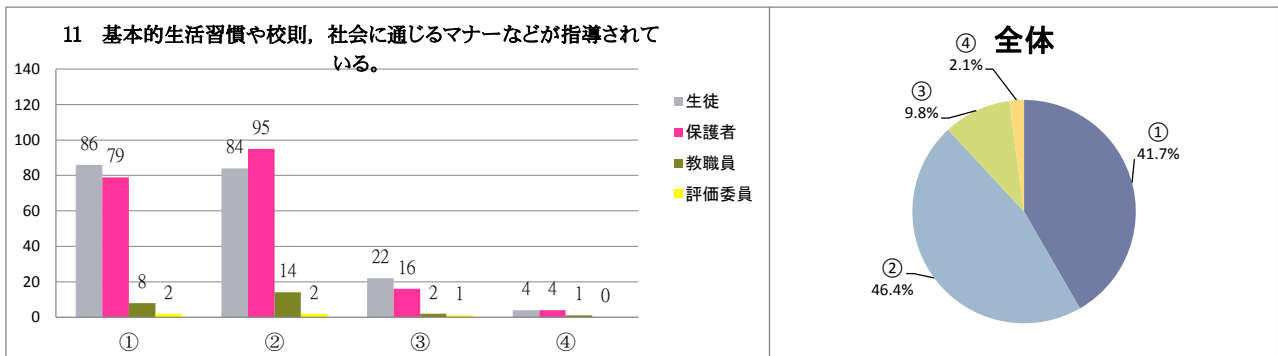
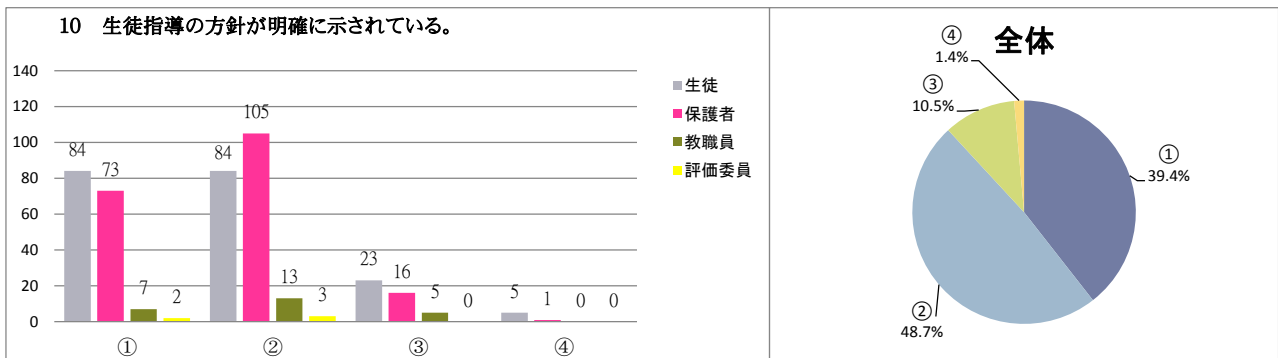
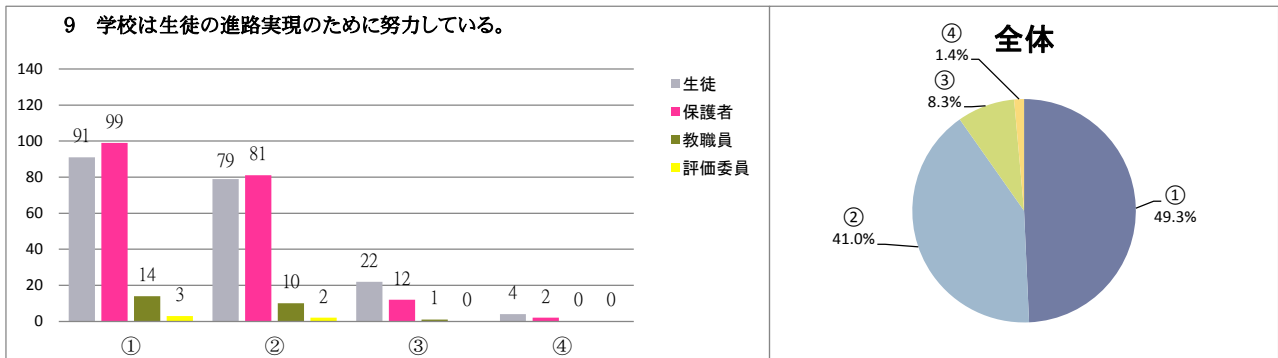
平成26年度 学校評価アンケート集計結果②(人数比較)

①よくあてはまる ②ややあてはまる ③あまりあてはまらない ④全くあてはまらない



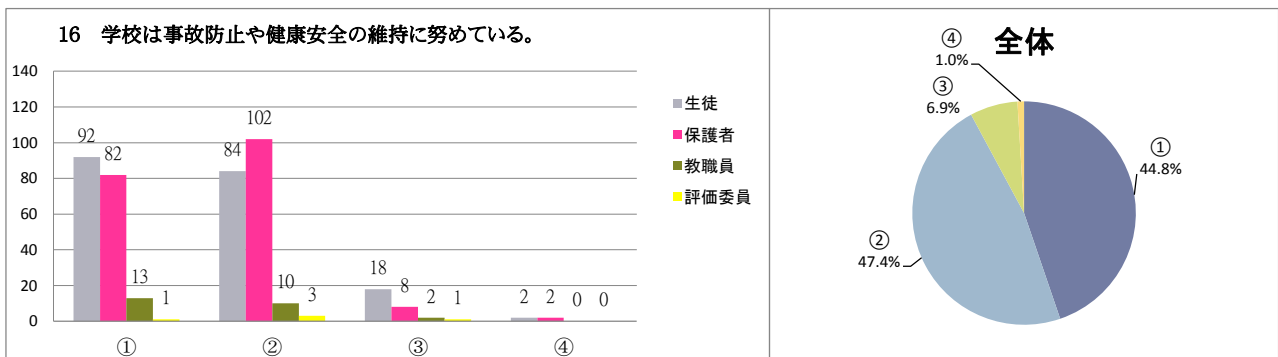
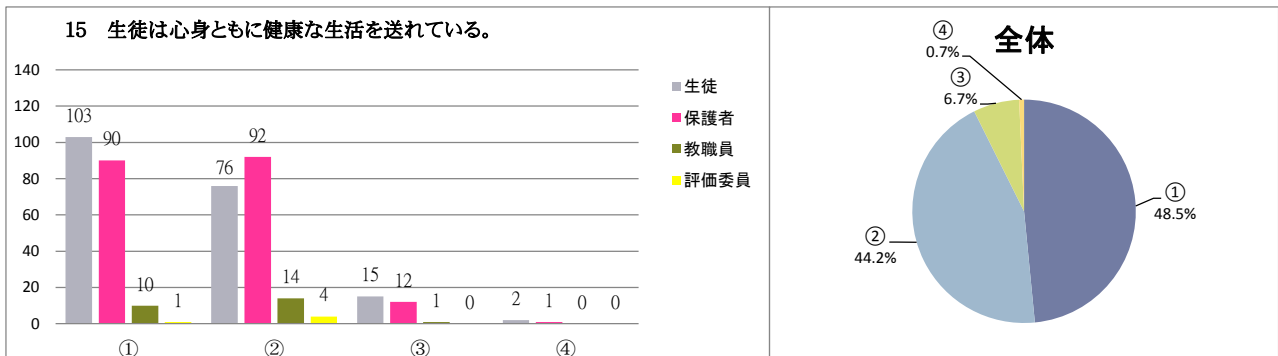
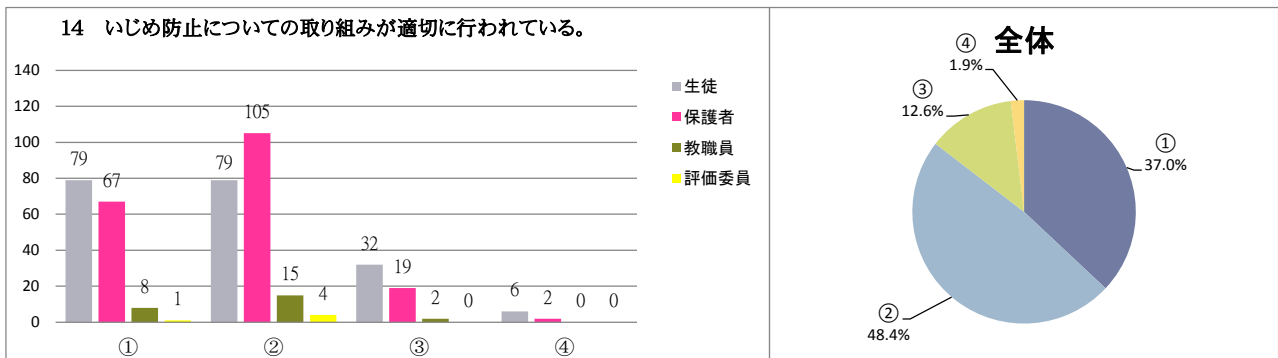
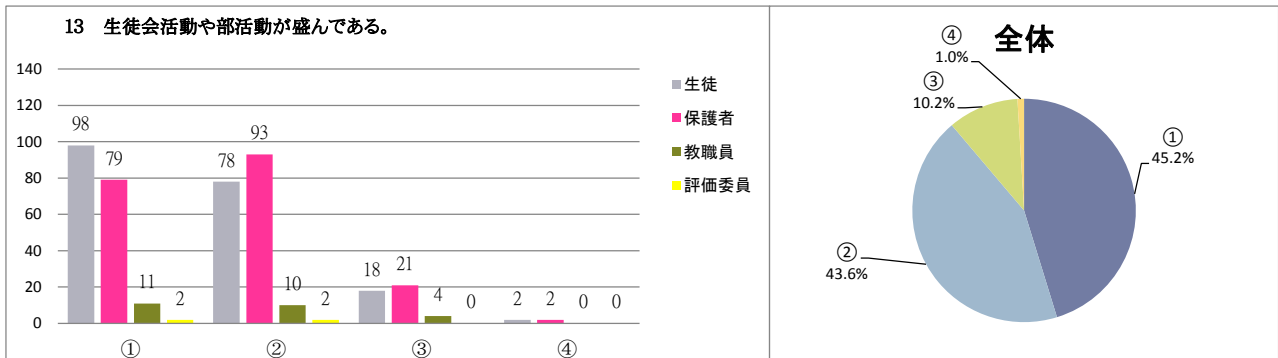
平成26年度 学校評価アンケート集計結果③(人数比較)

①よくあてはまる ②ややあてはまる ③あまりあてはまらない ④全くあてはまらない



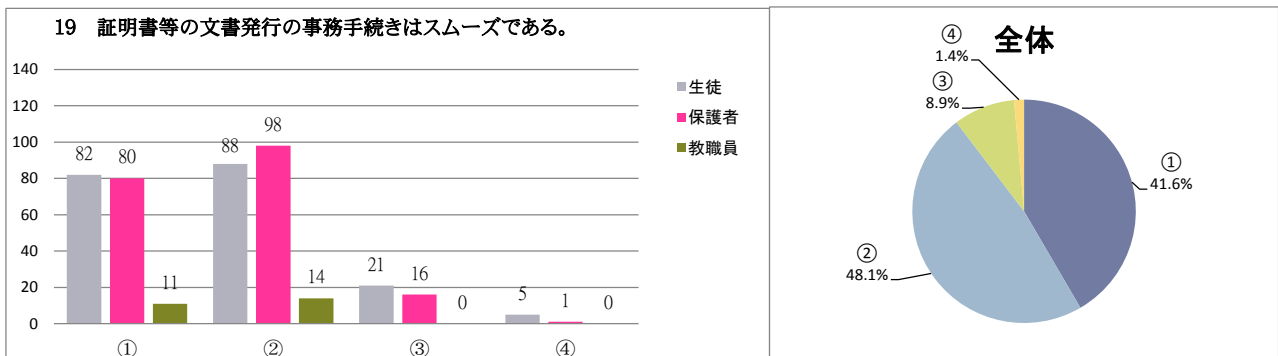
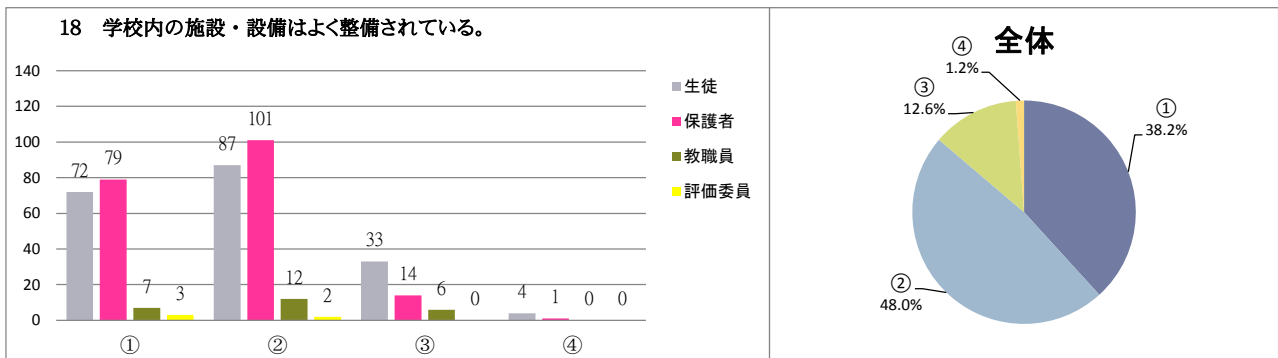
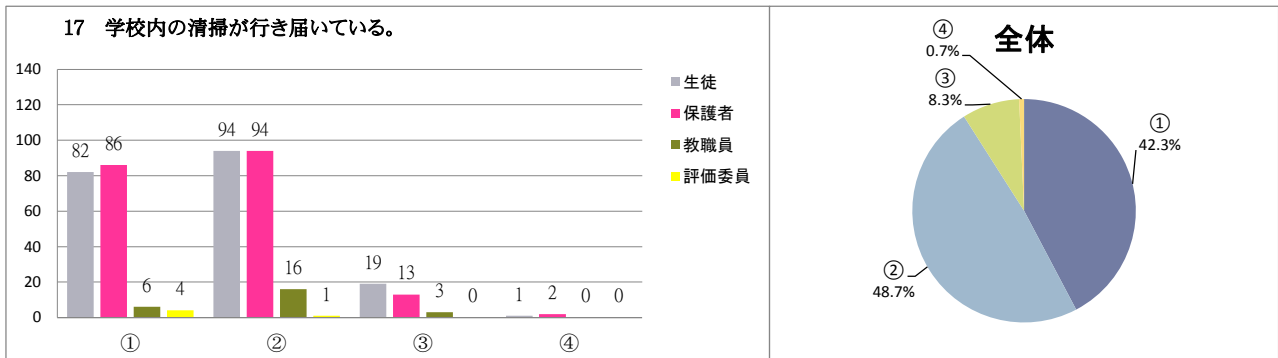
平成25年度 学校評価アンケート集計結果④(人数比較)

①よくあてはまる ②ややあてはまる ③あまりあてはまらない ④全くあてはまらない



平成26年度 学校評価アンケート集計結果⑤(人数比較)

①よくあてはまる ②ややあてはまる ③あまりあてはまらない ④全くあてはまらない



まとめ

ほとんどの項目は、昨年度と比べて少しずつ評価が上がっている。特に、「中高一貫教育の行事（乗入れ授業、合同発表会等）は、教育効果を上げているために適切に行われている。」は昨年度に比べ、17.7%評価が上がった。

「喜界高校に愛校心や誇りを持っている。」「悩みや困ったことがあったとき、学校は親身になって対応してくれる。」という2つの項目は、昨年度に比べると評価は上がったものの、「①よくあてはまる、②ややあてはまる」と回答した割合はそれぞれ83.2%、80.5%である（「④あてはまらない」は3.4%、2.8%）。「中高一貫教育の行事（乗入れ授業、合同発表会等）は、教育効果を上げているために適切に行われている。」の高評価は74.6%であり、他の項目に比べると決していいとは言えない（「④あてはまらない」は12.9%）。

「学校行事は、精選されている。」「生徒指導の方針が明確に示されている。」「悩みや困ったことがあったとき、学校は親身になって対応してくれる。」「学校内の施設・設備はよく整備されている。」の4つの項目について4者の評価の割合に大きな差異がみられた。

中高一貫教育については、中高の事務局会を中心にして、合同行事の更なる充実をはかりつつ、学習指導・進路指導・生徒指導でも連携が深まるように取り組んでいる。また、これまでの課題である学習意欲の低さ及び学力低下を改善すべく、昨年以上に乗入れ授業を実施するとともに、中学生が早くから高校生活を意識して行動するための様々な機会を設けている。保護者、地域の方々にこれらの取り組みをご理解していただき、かつ中高一貫教育に対して協力を得られるよう努めていきたい。

喜界高校への愛校心を養うことに関しては、落ち着いた学習環境作り、学校行事の活性化、生徒と職員の信頼関係作りが必要である。次年度に向けて、教務部、進路指導部、生徒指導部、保健部で連携をとり、改善をしていきたい。学校活性化を図りつつ、生徒の進路目標達成に繋がる学校行事を運営していきたい。PR活動については、引き続き、ホームページ、校門横の横断幕の設置等を通して、地域の方々に喜界高校の活躍をアピールしていく予定である。また、教育相談の期間に限らず、生徒が気軽に相談できる雰囲気作りを心がけ、家庭と連絡を取り合いながら親身になった対応に努めたい。

生徒の挨拶や地域行事への参加の良さを評価していただくことがある反面、服装や行動面での指摘をいただくこともある。これらの声を喜界高校生への期待として真摯に受け止め、生徒が心身ともに健康で、充実した学校生活を送れるように、今後とも職員が一致協力して指導していきたい。